

# DogNose通信(21)2018-8-18



DogNose永遠のルーキ: Luke

- センサ研究開発・製造販売
- ・課題解決型のセンサ開発
- ・シーズベースのセンサご提案
- ・IoTセンサシステム製造販売

## News:

- (1)ワイキキ出張:IEC-SC47F国際幹事2年生
- (2)試作例:試験販売を前提にしたDogNose空気&環境センサDog Sniffer 1号機の機能試作完了

## DogNoseセンサ技研

代表 三原 孝士(工学博士) 東京都西東京市

[mihara.dognose.sen@gmail.com](mailto:mihara.dognose.sen@gmail.com)

<http://dognosesens.web.fc2.com/>

## News:ワイキキ出張:IEC-SC47F国際幹事2年生

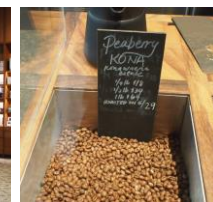
IECのMEMS部門:SC47F国際幹事になって、1年が経ちました。国際標準は、10年以上の経験がある諸先輩が殆どで、慣れない業務でご迷惑をかけていますが、何とか少しずつ慣れてきました。今回のワーキング会合は、ワイキキです。お勧めは高貴なPeaberry KONAと言うコーヒ豆!



会場ホテル



懇親会は韓国料理店で



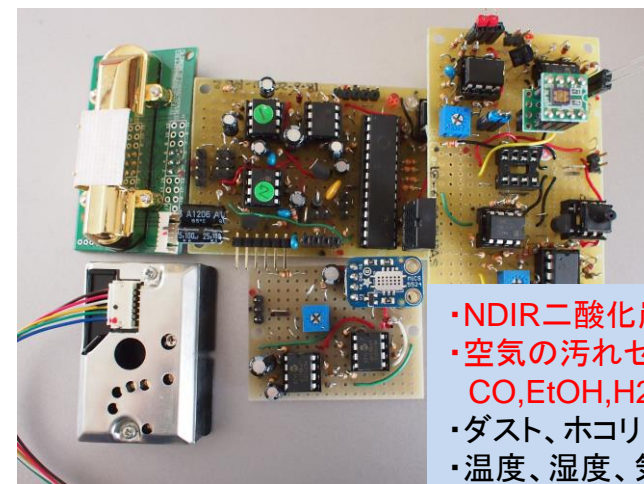
ハワイのコーヒ豆・固有種調達

## DogNose今回の製作例:

### 試験販売を前提にしたDogNose空気&環境センサDog Sniffer 1号機の機能試作完了

「DogNose独自開発センサシステム」をこれまで試行錯誤して来ましたが、やっとイメージが出来てきました。やはりDogNoseらしく環境計測を指向します。最近欧州の研究所発ベンチャーがマイクロホットプレート方式のMOS型(半導体方式)ガスセンサを販売し、更にNDIR方式の小型二酸化炭素センサが入手出来るようになりましたので、これを中心に様々な環境計測が可能な統合化システムを考えています。このほど、8個のセンサを搭載して、9種の空気の質や外界環境をセンシング可能な統合化システムの機能試作が完了しました。

最近ではデジタルインターフェースのセンサが気軽に使えるようになりましたが、多数のセンサを融合するのはまだまだ大変です。DogNoseセンサ技研では、アナログセンサやアナログ回路を多用することで集積化&多機能化を実現します。更に、特に重要なセンサに関しては、センサの状態を常時モニタする故障診断機能も具備させます。表面実装基板発注も完了しました。



DogNose空気&環境センサシステムの機能試作ボード

- ・NDIR二酸化炭素濃度
- ・空気の汚れセンシング  
CO, EtOH, H<sub>2</sub>, NH<sub>3</sub>
- ・ダスト、ホコリ
- ・温度、湿度、気圧
- ・照度
- ・紫外線強度
- ・体感風速